

ESDの実践例

愛媛県松山市：えひめグローバルネットワーク

放置自転車からみえる自分・地域・世界のつながり

アフリカ紛争地での武装解除のために、松山市にあふれる放置自転車を送り、武器回収に役立っている。この活動を通して、身近な地域の交通状況、大量消費・廃棄の問題を見つめ直し、世界の問題への関心を育てている。

自転車などの生活用品と武器を交換し回収、武器は現地警察により処理される



鹿児島県串良町柳谷集落

イモづくりから始まった村おこし

過疎高齢化が進む村で、高校生12人が始めたカライモ栽培が、集落全体で営農できるしくみをつくり、村の収益性を高め、高齢者宅の緊急警報装置を設置するなど、地域経済・社会の発展に結びついた。さらに村人総出で土着菌センターを建設するなど地域を元気にしている。

高校生が動けば、大人も、地域も動き出す！



現在、環境省では、「国連持続可能な開発のための教育の10年促進事業」において、全国10の地域(団体・事業)を採択し、地域に根差したESDの活動・取組を支援している。今後は、これら地域での実践を取りまとめて発信し、全国に普及させる。

詳細は、<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=7621>